

高齢者にやさしい町



小池 正博さん
(稲毛田)

先日、近所の高齢者の方が倒れていました。

家人が仕事に出かけた直後でした。幸にも通所しているヘルパーさんに発見され、救急搬送され最悪の事態は避けることができました。同じような境遇にある自分としては、他人事とは思えない出来事でした。

近年、高齢化の問題は国家的な問題として新聞を筆頭に、各マスコミでもよく取り上げられています。当芳賀町としてもこれからも取り組んでいかなければならない

問題ではないでしょうか。

議会の皆様方には、町当局と共に、このような問題にも粘り強く取り組んで行っていただければと思います。



子供たちの交通安全のために

私には、小学校に通う子供が3人います。通学路には、交通量が多く横断歩道がない危険な箇所があり、子供が手を挙げ横断しようとしても、止まってくれる車が少なく、親としても心配していました。ある人に相談したところ、1ヶ月程度で横断歩道ができ、親としては、とても感謝しています。

全国でも、年に数件の通学路での交通事故が起きています。芳賀町で、通学路での

交通事故が起きてからでは遅いと思います。

子供たちのために、通学路での危険箇所を事前に把握して、交通事故が起きないように、迅速な対応をお願いいたします。

一人の父親からの願いですが、子供たちの通学路では、スピードを落として、横断歩道で子供を見かけたら、車を止めていただき、子供が横断歩道を渡り終わるまで、温かく見守って下さい。



大森 修一さん
(下高根沢)

子供を守ろう



水沼 一彦さん
(東高橋)

各市町とも小・中学校の統廃合が進み、本町も9校あった小学校が3校になり、中学校は1校となっています。各学校の教育環境・設備は非常に充実されました。その代わり、子供たちの通学路はかなりの遠距離となっています。小学校はスクールバスが通り、道路も以前より広くなり、歩道も整備されてきました。しかし、場所によっては、まだまだ危険なところも見受けられます。

私の地域の小学生は、スクールバスで通学していますが、その集合場所までの道路

が真岡方面への通勤経路として利用する車が多く、大型車も増えています。

通勤時間帯と登校時間帯が重なるため、集合場所まで毎朝各家とも親御さんが付き添っていますが、歩道もないためかなり危険を感じていることと思います。

地域ぐるみで子供たちを見守ることは当然ですが、何か通学路の表示等ドライバーに注意を促すなど子供たちを守る対策はできないでしょうか。子供たちにとっても私たちにしても、安心・安全な町づくりをお願いいたします。